



大洲市 No.118 2014年 11月号

社協だより

編集/発行 社会福祉法人大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>
大洲市社協 検索

ワークキャンプ事業開催！！

ワークキャンプ事業とは、大洲市内の中学生・高校生を対象に、夏休みを利用して3日間体験学習活動を行い、その活動を通してボランティアや福祉等に関心を持ち、地域の福祉活動を知ってもらうことを目的として開催している事業です。今年も、9名の生徒が参加し体験活動やワークショップ等を行いました。3日間の内、2日間を国立大洲青少年交流の家で宿泊し、3日目には体験学習として地域の6つのサロンに参加しました。（写真のコメントは生徒のものです。）

☆サロン体験学習のようす☆



一日会では、内子の笹祭りへ外出した後、織姫と彦星の人形作りをしました。押さえたり顔を描いたり参加者と一緒に楽しく作れました。自分にできることがいっぱいできました。

久米地区子育てサロンに参加して、夜市のお手伝いをしました。緊張したけれど徐々に自分らしく笑顔で行動することができました。



しあわせサロンに参加して、一緒に笹飾りを作りました。「みんなで協力し合える」ことや「毎回のサロンを楽しみにしている」など参加者の深い思いがあることを知ることができました。

☆交流の家学習のようす☆



班ごとに、地域の課題を考えるワークショップも行い、当事者の気持ちを考え自分たちにできないかどうかを考えて発表しました。



地域活動支援センターくじらの幸田裕司氏による傾聴・コミュニケーションの講義のようすです。



あゆみサロンでは参加者と一緒に手すき和紙作りをしました。コミュニケーションがとれ、参加者とふれあうことができました。

柚木元気サロンは体操を主としたサロンで、私も一緒に参加しました。とてもハードな体操についていける皆さんに驚きました。楽しむことが一番だと知りました。



☆BBQのようす☆

地域のサロン体験学習の後、地域のボランティアや参加者に残っていただき、一緒に振り返りの作業を行いました。

地域の間人関係の希薄化が進む中で地域のボランティアやサロンに来る方の思いを聞く機会にもなり、サロンも1つの社会資源になっていることを学ぶことができました。



火おこしや水分調節も考えて行いました。



りと楽し。まいし。べ野。しうい。皆て菜。た。間しで行の。に、すい。準。終あるま備。わつとしも。



★次頁に生徒の感想文を掲載しています！

ワークショップ感想

新谷中学校二年 藤田 弥帆香



去年ワークショップに参加したとき、なかなかうまく利用者の方と話せなくて、今年のワークショップの参加にも少し不安がありました。

交流の家での学習で一番に残ったことは、「コミュニケーション教室で言われていた「自分を大切にできる人は他人も大切にできる」というお話です。自分には好きでないとこころがたくさんあるけど、できないことを言うより、できることがあるということを大切にしてい、自分のことを大切にできる人になりたいと思いました。



沖浦サロンのようす。参加する生徒が事前に考えていたレクリエーションを行いました。自分たちで考えたルールでゲームを進めましたが、皆と一緒に笑い合い、世代を越えた交流ができました。

サロンでの体験が一番感じたことは、年齢が離れた人とも「楽しむ」ことができるんだなということだと思います。人生の大先輩なので、敬って接するのは当たり前だけれど、『年齢が離れている』ということに壁をつくらずに一緒に楽しむことが大切ではないかと思いました。



認知症についても学び、認知症の方は常に不安を感じているため、周りの人が病気を理解して自分にできることはないかどうかを考え、応援者になってほしい、隣近所がつながっていることの重要性も学びました。



帝京第五高等学校二年 宇都宮 希春 (一部抜粋)

高齢者疑似体験、車椅子体験では、自分が体験してみないと気持ちからわからないし、体験してみても援助の方法を考へることができませんでした。階段では転倒しないように自分の立つ位置が重要だったり、椅子に座るのに椅子を引いて、手をそえるとか自分で考えて動くことも大切だと思いました。

た。コミュニケーション教室では、二つの言葉が心に残りました。「目と耳で聴くこと」、「自分のできることを見つめる」ことです。「目と耳で聴く」ことは自分にとっても相手にとっても気持ちの良いことだと思っし、目と耳を使って聴くことで話が興味深くなってくると思いました。ただ聞くだけでは「ふーん、そうか」で終わってしまうと思います。「聴く」ことで「ほー、こうなるんだ、次は？」と話が展開してだんだん楽しくなるし、盛り上がると思います。何事も「聴く」という姿勢で話がたくさん聴けると良いなと思います。「自分のできることを見つめる」では普段から自分から積極的に見つけて行動するという意味もあるのではないかと思います。私はできないことはやっても嫌になるタイプなので、まずは自分の周りを気にしてできそうなことをしっかりとやっていきたいです。みんなそれぞれ個性があるようにできる、できないことは違うので、できないところはみんなでカバーし合う協力も大切だと思いました。



「あいさつ」、「思いやり」、「常に笑顔」、「目線を同じところに」、「目と耳で聴く」。地域のサロンに行くときの心構えをグループで考え発表しました。「サロンで1つでも実践できるように頑張ります!!」とのことでした。

につれしかつたし、来て良かったと思えました。午前中に行った内子の笹祭りは残念ながら雨でしたが、足いったり、午後からの手芸では参加者さんができないところを一緒にやりたりして、自分にできそうなことをやれたと思います。反省点としては周りを見ることがもう少しできたら良かったと思います。私も笑顔の良い看護師をめざして頑張つて勉強したいです。

今回三日間で学んだことを生活、授業の中で活かしたいです。本当に楽しい充実したワークショップでした。来年はワークショップに参加するのも最後になってしまうので、ぜひ来年も参加して良い体験をたくさんしたいと思います。本当にありがとうございました。

俳句ひろば

溪流の音を抱き込む河鹿宿

入山 マサ子

評 音を抱き込むの発見、いいですね。

それなりの八十路の体更衣

岩本 富良

評 八十路には八十路のそれ相應の更衣、心まで老いてはいません。

色とりどりのあざさるや雨上る

上田 サチ子

評 雨の上つたあとの紫陽花の美しさに元気をもらいます。

夏野菜の虫と年よりたたかひぬ

笹田 幸子

評 念を入れて育てて来た野菜についた虫。じつとしてはおられません。

名月やしづかに語り母しのぶ

谷村 サヨ子

評 語り合ったのは母君とでしうか。過ぎ去つた事、亡き人の事、月は只しづかです。

■このコーナーは、白岩チツ子先生に担当していただいております。一般・施設・学生さんからの応募、大歓迎です。みなさんからのお待ちしております。

お問い合わせは、

大洲市社会福祉協議会

地域福祉係まで

まごころのおくりもの 8月分

金銭の部 (指定分)

- 《喜多地区社協へ》 東大洲 上 甲 靖 則 様
- 《平野地区社協へ》 平野町 檜 田 茂 子 様
- 平野町 坪 田 順 一 様
- 《柳沢地区社協へ》 柳 沢 新 山 孝 光 様
- 《新谷地区社協へ》 新 谷 大 山 博 幸 様
- 新谷町 大 野 剛 様
- 新谷町 宮 内 子 づ 子 様
- 《上須戒地区社協へ》 上 須 戒 二 宮 章 様
- 《河辺地区社協へ》 河 辺 町 軍 人 恩 給 会 様
- 《特別養護老人ホーム かわかみ荘様へ》 大 洲 市 草 莽 の 一 蛭 様

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。



大洲育成園

イルミネーション点灯!

～みんな大好き～ ☆

- ◆日時 平成26年12月13日 (土) 午後5時30分から午後8時まで
- ◆場所 大洲育成園 (駐車場あり)
- ◆内容 ・ミニコンサート・バルーンアート等
・喫茶、和洋菓子 (ミニうどん、カレーもあり)
・桃太郎工房製品即売



地域の皆様のご来園を心からお待ちしております。

ボランティアも募集しております。よろしくお願ひします。

◆お問い合わせ先 大洲育成園 担当 城戸 電話 25-5251

ふれあいタイム in 肱川

～移動ボランティア～

平成26年8月24日(日)、肱川公民館に於いて「ふれあいタイム」が行われました。

これは、大洲市ボランティア連絡協議会が地域の人たちや子どもたちとのふれあいを通しボランティアについて知ってもらおうと毎年開催しているもので、今年は約50名の参加で行うことができました。

今回は、肱川地区の子どもたち・保護者、また地域住民の方々とともに、肱川にいられているALT(外国語指導助手)の方にも参加していただき、大変盛り上がった会となりました。

大洲市ボランティア連絡協議会では、今後もこのような催しを通して、より多くの方々にボランティアでの新しい出会いや面白さを伝えていきたいと思います。

最後に、ご協力いただきました地域の皆さん本当にありがとうございました。



地区社協からのお便り
肱南地区社協「協力会員のつどい」
 8月27日(水)開催

肱南地区社協では、年に1度、毎回内容を変えながら「協力会員つどい」を開催しています。

『要介護者マップづくり』等、過去様々な内容で実施してきた「つどい」ですが、今回は、協力会員さんが日頃高齢者のつどい、見守り、配食、サロンといった、云わば福祉の「ソフト面」で活躍しておられるのに対し、福祉を取り巻く制度といった「ハード面」にも目を向けてみよう、と、『介護保険』と『日常生活自立支援事業(含成年後見人制度)』に焦点をあてての勉強会を企画し実施しました。

勉強会を終えて参加者からは——●知らなかったことを知れたり、色々気付けたりで来たので良かった。●分かりやすい説明でみんな納得したのではないかなと思う。●介護の現状等いろいろ情報を聞く中で、要介護状態にならないためにはどうすればいいのかな等も含めて、考え方を考えていかなければならない時代が来ていると思った。●成年後見人制度等の説明がよくわかった。必要だけど理解しにくくてなかなか利用できない人もいると思う。どんどん利用した方がよいと思う。●介護のこと等で困ったとき、今日のことを覚えておいたら専門の人にすぐ相談して解決に向けて動ける。今日のことを参考にしたら良いと思う——といった意見や感想が聞かれ、有意義な「つどい」となったのではないかと感じました。

今後も協力会員の活動を盛り立てていけるような「つどい」を企画していければと思っています。



皆さん、活動に役立てようと真剣に話を聞いておられました。



講義だけでなく、全員参加のゲームで笑いも交えて！

意見交換では多くの方が感想や思いを話してくださいました。

あなたのガンバリ
応援します

**国際ソロプチミスト大洲認証20周年記念
 ボランティア活動助成事業**

大洲市及び内子町において、地域のボランティア活動を継続している個人または団体に**活動資金を助成**いたします。

助成金額、申請方法等詳細は下記までお気軽にお問合せください。



募集期間：平成26年11月1日～平成27年1月31日

お問合せ先：(下記のいずれか)

- 国際ソロプチミスト大洲 事務局 TEL 23-5578
- 大洲地区：向井 順 TEL 25-0668
- 村上 玲子 TEL 24-2938
- 野寄志げ子 TEL 25-0681
- 内子地区：中岡 文 TEL 44-4757

心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会(本所)	【一般相談】毎週月・水 【介護相談】毎週金 【弁護士法律相談※要電話予約】毎月第1・3火(11月4日と18日) 【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火および毎週木 大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※祝日を除く
長 浜 支 所	11月28日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
肱 川 支 所	11月 5日(水) 大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
河 辺 支 所	11月10日(月) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
お問合せ先	本 所 TEL 23-0313 (代表、弁護士相談予約) TEL 23-5629 (相談室直通) 長浜支所 TEL 52-1194 肱川支所 TEL 34-2312 河辺支所 TEL 39-2510